



三浦市子どもの船

取材

概要： 三浦市内の子どもたちが、県立海洋科学高校の実習船「湘南丸」の乗船体験をおこなった。

市内小・
中学生希望者



実施内容

1. 目的 乗船体験を行うことで、船内でどのような活動が行われているのかを知り、海に親しみ、海を学ぶ機会とする。
2. 内容 三浦市教育委員会、三浦市子どもの船実行委員会主催で、三浦市の小中学生希望者に、実習船湘南丸の乗船体験をしてもらう。マグロの解体や海洋観測、海水内の微生物の観察等も行う。
3. 日時 平成28年 8月3日(水) 9:20~14:00
4. 場所 うらり(三浦フィッシャリーナ・ウォーフ)、湘南丸
5. 参加者 市内小・中学生希望者28名、教育委員会青少年教育課職員、研究所職員
6. 指導者 湘南丸船長ほか乗船教官、専攻科生、海洋科学高校教員
7. 持ち物 帽子、タオル、ハンカチ、日焼け止め、お弁当、リュックサック

当日の様子

○朝のミーティング時、子どもたちは楽しい雰囲気の中で、市長や海洋科学高校副校長のあいさつを聞いていた。

○湘南丸に乗船、子どもたちは出港前にマグロの解体ショーを観覧した。あつという間に捌かれていくマグロを食い入るように観察していた。

○子どもたちは、担当学生の言葉で班に分かれて、船内視察、海洋観測、海水内の微生物の観察などを行った。どの作業も興味深い面持ちで作業体験していた。

○船酔いで辛そうな子どももいたが、下船する際、教員、学生たちにお礼のあいさつをしっかりと伝えていた。「前にも乗ったことがあるけど、船の事がもっと分かってよかった。」という感想もあった。